



平成 29 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 トピー工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 高松 信彦
 (コード：7231 東・名証第 1 部)
 問合せ先 総 務 部 長 立花 修一
 (TEL 03-3493-0777)

第 2 四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正 ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 12 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）の連結業績予想と実績値に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

また、平成 29 年 11 月 2 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日に公表しました平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想ならびに 1 株当たり配当予想を修正することとしましたので、あわせてお知らせいたします。

●業績予想と実績値の差異及び業績予想の修正について

平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想値との差異（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 29 年 5 月 12 日発表)	110,000	2,000	2,100	1,300	55.36
今 回 実 績 (B)	107,235	3,605	4,001	2,768	117.90
増 減 額 (B-A)	△2,764	+1,605	+1,901	+1,468	
増 減 率 (%)	△2.5%	+80.3%	+90.6%	+113.0%	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	97,185	1,930	984	1,177	49.76

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 29 年 5 月 12 日発表)	227,000	7,500	7,400	4,900	208.67
今 回 修 正 予 想 (B)	233,000	8,500	8,600	5,500	234.20
増 減 額 (B-A)	6,000	1,000	1,200	600	
増 減 率 (%)	+2.6%	+13.3%	+16.2%	+12.2%	
(ご参考)前 期 実 績 (平成 29 年 3 月 期)	208,237	7,180	6,116	7,191	303.90

差異及び修正の理由

平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績につきましては、自動車・産業機械部品事業において、建設機械用足回り部品及び鉱山機械用ホイールの販売数量が想定を上回るとともに、鉄鋼事業において、主原料である鉄スクラップ価格が想定を下回ったこと等により、各事業セグメントの営業利益は前回予想を上回る実績となりました。また、営業利益の増加によって、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても前回予想を上回る実績となりました。

平成 30 年 3 月期通期の連結業績につきましては、前回公表しました業績予想から上期の利益水準が上振れしたこと及び下期についても、建設機械用足回り部品及び鉱山機械用ホイールの販売数量が想定を上回ると見込まれるため、鉄スクラップ価格の上昇等によるマイナス影響はあるものの、通期の利益水準が前回公表値を上回る見通しとなりました。

なお、上記の予想は本資料の発行日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

●配当予想の修正について

	年 間 配 当 金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想 (平成 29 年 5 月 12 日発表)	—	20.00	—	50.00	70.00
今 回 修 正 予 想	—	—	—	60.00	80.00
当 期 実 績	—	20.00	—		
前 期 実 績 (平成 29 年 3 月 期)	—	1.00	—	70.00	—

※平成 28 年 10 月 1 日を効力発生日として普通株式 10 株につき 1 株の割合で株式併合を実施したため、平成 29 年 3 月期の 1 株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しています。株式併合後の基準で換算した平成 29 年 3 月期の第 2 四半期末配当金は 10 円となり、1 株当たり年間配当金は 80 円となります。

修正の理由

平成 30 年 3 月期の期末配当金の予想につきましては、通期連結業績予想が前回予想値を上回ったことを踏まえて、既公表の配当方針に従い、平成 29 年 5 月 12 日の公表内容から 10 円増額し、1 株当たり 60 円とさせていただきます。したがって、中間配当金を含めた年間配当金は、1 株当たり 80 円を予定しております。

以 上